

学校教育目標

『かしこく・やさしく・たくましく』



〈目指す学校像〉

『思いやり日本一の学校』

川越小だより

5月号 令和7年5月1日

〈磨こう3つの玉〉

○みつけ玉

○しんせつ玉

○がまん玉

明るくさわやかなスタート

校長 金 井 進

満開の桜でスタートした令和7年度も早一ヶ月が過ぎ、すっかり若葉の緑も鮮やかに、さわやかな季節となりました。

過日の「1年生を迎える会」では、在校生からのプレゼントを首から下げたかわいらしい1年生が、クイズや歓迎の言葉を嬉しそうに聞きながら参加していました。

入場では、6年生が1年生と手をつないでやさしくエスコートしました。児童会役員の子たちは、面白おかしくクイズを出題して1年生を喜ばせました。2年生以上の在校生は、気持ちのこもった呼びかけをしました。こうした歓迎に対し、1年生もまた、しっかりとお礼の言葉を返すことができました。短い朝の時間でしたが、川小全体がとても温かい雰囲気に包まれ、私は、これこそが川越小の「しんせつ玉」の姿だと感心しました。



この一ヶ月の間に私が感心したことは、他にもあります。その一つが「あいさつ」です。毎朝、校門で子どもたちを迎え、声をかけながら感じているのは、

- 凜とした声ですがすがしいあいさつのできる子が多い。
- 人の目を見てあいさつのできる子が多い。

ということです。

あいさつは、人と人との関係づくりの第一歩であり、あいさつをするという行為は、自分が相手と良好な関係をつくらうとする意思があることを示しているものだと思います。ですから、目を見てあいさつができる子には、特にその気持ちがあることが伝わってきて、うれしく思います。また、自分から先に「校長先生、おはようございます。」「今日も一日頑張ります。」と言ってくれる子もいました。素晴らしいと思うと同時に、きっとこの子のご家族の方も、普段から気持ちのよいあいさつをされる方なのだろうと想像しました。

感心したことの二つ目は、休み時間に外で体を動かして遊んでいる子どもがとても多いことです。ドッジボールや鬼ごっこ。新しい学級の友達と楽しく過ごしている様子が伝わってきます。陽の光を浴びて運動することは、体力の向上はもちろん、免疫力も高め、また気分をスッキリさせることにもつながります。本校の子どもたちが、明るく元気に生活できていることは、このことも関係しているように感じました。今後とも是非続けていってほしいと思いました。

4月からの一ヶ月。子どもたちは、新しい先生、学年、クラスの仲間たちと明るくさわやかなスタートが切れたようです。この調子で是非、1年間を仲よく、楽しく過ごして欲しいものです。ご家庭におかれましても、子どもたちへの励ましをよろしくお願いします。

下校について

昨年度の下校のアンケートにおいて保護者の皆様に回答いただいた結果では、3～6年生を自由下校にすること、1・2年生は集団下校を継続することについて賛成意見が80%、心配な意見が20%でした。つきましては、1学期中に3～6年生の自由下校を試行し、2学期以降の下校方法について検討する予定です。よろしくお願いいたします。

学校運営協議会について

今年度も川越小学校 学校運営協議会を立ち上げ、4月21日に第1回協議会を実施しました。保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることで、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めてまいります。

川越市教育委員会 からのお知らせ

①いじめ相談窓口 のご案内



②相談窓口



③定期相談



④就学相談セミナー



⑤ことばきこえの相談 (1～3年生の保護者様向け)



⑥ことばきこえ 『困った』があったら (1年生の保護者様向け)

